

朝倉とともに 2018.10.14

防災士 朝倉災害支援ボランティア活動センター
代表 天野 時生 副代表 橋本 康弘

第26号

あせらず少しずつ

草刈りの後、裏庭奥にある樹木の伐採を行う。被災者の方が自ら植えたものや自生していたものもあり、乱立している状態では多くは斜面に立っていることから今後、台風で倒れたり、大雨で土砂崩れを引き起こさねず整理することになった。低木から大木まであり、時間はかかるが少しずつ伐採し、安心して過ごせる状況に持っていく。



8月に西日本豪雨の二次災害防止の作業を行った福岡県那珂川市埋金地区のお宅で10月14日(日)前回からの継続作業を朝9時からさせていただいた。2ヶ月経ち、竹や雑草が目立ち始めていたため被災者から要請があった。



草刈機とチェーンソーを持ち込み、まずは裏庭の竹林の伐採と雑草の草刈りを行った。

裏庭に覆いかぶさっていた竹はなくなっただものの切り残した竹を伐採していく。

西日本豪雨から三ヶ月

雑草は大きく伸びたものを鋏で刈り取りながら全体的に草刈り機で刈っていった。これから気候も涼しくなり、雑草も伸びないことから草刈りは一段落し、今後は竹や樹木の整理に入る。



今回の作業は、枇杷の木を2本伐採することにした。斜面に立っており、足場が安定しない中、主要な枝を落とし、幹を切断。さらに枝は細かく断裁、幹は玉切りしていく。鬱蒼としていた裏庭が少し明るくなり、「すっきりした」と大変喜ばれた。

着実な復旧・復興を誓う



休憩中、被災者の方と多くの話をする事ができた。若いころの話、地域の人々との交わり、そしてこれからのこと等、元気に明るく話される姿に私自身も元気になっていく気がした。秋を迎え、さわやかな風と青空の下、早期復興を誓った。

九州北部豪雨で亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々からのお見舞い申し上げます。ともに早期の復旧・復興を祈念します。